講習会

日本幼稚園・協会主催

期日
昭和六年七月三十三日より二十六日まで四日間毎日午後一时より四時まで

場所
東京女子高等師範学校

講師
東京女子高等師範学校助教授 三浦ヒロ氏

会費
金二円

申込手続
講習希望者は住所、氏名を詳細し来る七月十五日までに本会宛御申込下さい。

注意
講習者は簡単なる體操服を御用意下さる事。

七月二十五日より同二十七日まで毎日午前中文部省主催の保育講習会が東京女子高等師範学校於て開催せらる事を知ります。本会主催講習会はその午後に於て同じ場所に開催せすのであります。講習会は主催が別であります。よって、文部省の講習の方は夫々府県に申込され其の許可を得られるのであり、本会の講習の方は直接本会宛て申込み願ふのであります。両者を混同されぬよう御注意下さいます。

日本幼稚園協会

東京女子高等師範学校附属幼稚園内
育教の児幼
輯総会協園幼稚幼本日

第一章
本會の目的

第二章
本會の関係

第三章
本會の規則

第四章
本會の組織

第五章
本會の役員

第六章
本會の活動

第七章
本會の運営

第八章
本會の会費

第九章
本會の管理

第十章
本會の運営

編集

東京女子高等師範学校教授

倉橋

吉岡

郷甫
新教育の主調併せて海外幼稚園見学感想

新設幼稚園の設備（下）

初 澤 宗 壽（二）

幼児の為に歌を作りて（一）

葛原しん（四）

七月の手技材料（一）

和 田

村 楊 雄 四（三）

金 空（室）
C 色彩リズム

1. 色のオーケストレーション（デイン式）

2. 色彩リズムの教授方法（小林式）

△ 総合
A は音楽教育として完全無欠である。
B と C との結合は、
C との結合は、
D と E との結合は、
E と F との結合は、
F と G との結合は、
G と H との結合は、
H と I との結合は、
I と J との結合は、
J と K との結合は、
K と L との結合は、
L と M との結合は、
M と N との結合は、
N と O との結合は、
O と P との結合は、
P と Q との結合は、
Q と R との結合は、
R と S との結合は、
S と T との結合は、
T と U との結合は、
U と V との結合は、
V と W との結合は、
W と X との結合は、
X と Y との結合は、
Y と Z との結合は、
Z と との結合は、
のものである。

方法・創案者紹介

ジョワール先生
デュテイン先生
パティーディ先生
バトリオ・ケンデイ先生

リズムの発展

表現在リズムの発展

 mensajes de texto
第三回保育夏期講習会

講師及び科目

宿会員

申込期限

定員

金額

泊場所

時期

間

毎日午前八時より午後三時まで

東京市神田区一ツ橋通町に

主催 佛教保育協会

保育課

在

農業等の施設と実際

東京市淡海区松清町に

本会事務所宛（電話渋谷8460-18番）

東京教育会

保育者

修養

農業等同様の打分方

指導方

新宿御苑拜観其他の保育事業施設

本会会長

加藤啓堂氏

東京女子高等師範前東京音楽学校

手技の挙方

実際

佛教保育の実際

主催 佛教保育協会

東洋大学教授

関之氏

東京女子高等師範附属幼稚園部

本田庄太郎氏

島田

島田

島田

島田

島田

島田

島田
育教の兒幼

月七年六和昭

幼児向けの顔、何とふるふる涼しさだらう。此の日中を駆け歩き飛び廻り遊び

焦らない心は涼しい。もだへない心は涼しい。熟積せる愚痴、追ひまわす思
念、密閉せる我執、誇りあげる虚飾。思っただけでも蒸し暑いが、それが幼児
にない。

忘れた我、事に即し今生きる真剣、熱風に居て熱を知らぬ。汗にぬれて
汗を知らぬ幼児の顔、今鳴いてゐる一匹の蟻をねらって、萬象無に帰せる幼児
の顔。悟道の極ではないが、何とふるふる心の感しさだ。

それにしても、なんと暑くなる我等の顔。

（倉橋先生）
新教育の主調

併せて
海外幼稚園参観感想

帝国大学助教授
文學博士
入澤 宗壽

本日皆様に一般教育上のことについてお話し申し上げ特に又、幼稚園に関する所感をも申述べる機会を
得ましたことを光栄に存じます。私自身は幼児教育者ではありませんが、幼児教育につきましてはかな
り興味を持って居ります。此の方面で考へを述べた事もありますが実際に関児教育に従事したのではあ
りません。もっとも、家庭では三者の子供を育てた事はありませんが、事実に幼児教育に従事したのではあ
ら苦情が出るかも知れません。機関があれば私も幼稚園を考へて度いと思っては居るのですか、なかなか
かも思ふ様にはなりません。新渡部成造先生が若い時に「六十歳になつたら幼稚園を作る」と言はれま
したが、もう六十歳は遠くに過ぎるようであると申しまんが、何時か幼稚園をやり度いものだと思って居ります。新教育の主調は

（五月十六日、本協会の幼稚園講演会における講演の大要筆記であります。文責在在記者）
どこにあるか、これは倉橋先生からの出題であるが、これに付き私の方へまず所を申し述べます。

これには新教育の意味の説明を要しますが、短い時間のことであるから、新教育とは真教育に対し
てはるるものとして置きまして、これから特徴を申上げれば舊教育に対し
かが分かります。

新教育の主な傾向は何処にあるか。皆さんのよく聞くが Nursery であります。自己活動が主調であり、と云へば答
案は端麗と思ひますが、単にこれだけでは意味をなしません。もと説明がつかなくては判斷し難いも
のであります。自己活動とは、つまり、幼児・児童・生徒・学生の主観の活動する所教育をし向ける事
であります。これは昔から多くの教育者に云はれた言葉であります。ルッソー、フリーメルは如何に力説した
かは云ふまでもありません。併しながら教鞭をとる際どうも行はれ難いから、今日に至る迄、これが唱
えるのであります。かなり以前より唱へられる言葉なるに聞くず今日尚強く言はれますのは、自己
活動といふものが實際教育に於いては却々やや悪いかからである。何故にやる難いかは暫く置き、私
は、新教育の中心傾向が自己活動にあることを他の主調から申しへ見たいと思ひます。

近年フランスやドイツで作業思想、作業学校、或は労作主義と言ばれるものに中心を考へますと、矢

三
張り自己活動が主となる居ます。フレームでも御承知のように作業観というふることをして居ます。今日アルパイシューレと呼ばれるものは手工的作業が最
初の意味で、それを中心として唱えられて来たのです。これは手工的作業によって幼児、児童の主観を
活動させることが多いからです。云ふまでもなく、抽象的でなく具體的ななのであります。新教育は抽象
でなく具體化して来たました。子供が具體性の時代にあるのです。つまり、児童の自己主観を中心にして
いくために、手工的作業の方面が新教育として力説されて来たのです。つまり、児童の自己主観を中心にして
変って来たのです。今の意味から出発して児童の精神作業に至ったのであります。勿論、作業に連関して作
業学校でも段々力説するようになったのであります。勿論、作業に連関して作業の要素が新教育で強く
唱えられて、遊戯的方法でやります。勿論、作業に連関して遊戯の要素が新教育で強く
すように、自己活動のためてあります。遊戯は段々目的を意識して行う作業になることは勿論であ
す。
この作業主義傾向にも一つ、プロセクト法があります。アメリカに力説される新教育で、
これは、
日本で流行り出した頃、この講堂で国民教育懇談会主催の講演会で話をした事があります。勿論、
はその頃教育界で問題になったに比べて忘れられた嫌いがありますが、本國の米国では一年に何冊の
本が出るという程でした。実際施設は今日が一等隆盛だと昨年みて遅って思いました。プロセクト法
は、ドイツの作業思想と独立したアメリカ中心に起ったものである。それによって両者の行き方は似て居る。

最初は具体的作業中心、実際的な仕事の計画でした。机とか椅子とかを作らせる中に教育徹底をさ

想が段々進むと自己活動を力説する派が出ます。計画がある所には目的がある、キルバートリックは目

的をプロセクットに於て重く見て居ります。目的を意識してやれば具体的仕事でなくてもよいではない

か、考へますと、最初の意味が拝げて自己活動力説となり、作業学校思想と同じような居ります。

生命

今日、教育上の倾向として又、生命と生活が力説されます。英語のライフ、独逸語のレーベンの一語

に対し日本語では相當する適當の一語がないので言葉から説いたのでは一時間では足りませんからぼん

やりと抜けますのが、児童の生命を高調する思想と言えば申すまでもなく、児童学校思想と同じような居ります。

教師

児童生活の力説と類似しました。教師といふことにはドイツや日本では教育者の力説する方面であります。これも亦、畢竟私に申す自己活動の力説となりますか、それが新教育の現代に於ける主調である。
體驗とかもいのは自身が験するのではなさけ、主観が験するのではありませんか、つまり主観の力説。

新教育はまた此の要素を力説します。これを力説し、中心にして居りますから、感情要素が強いものである。

感情、芸術的要素

賞し、主観が活動します。従来の主知主義に對し感情要素、芸術的要素の力説であります。それ故にこれも亦自己活動に立つものであります。劇をやらせるとは一種のプロセスであります。

舞臺の役割選定、役割は自己が活動しなければ出来ません。新教育の芸術的方面がやかましく云は

個性、個性的といふこと

個性解放、個性の自由、個一に對し個性的にと主調すこととは新教育の特徴であります。これが自己活動力説に即して教育するといふも、個性自由から出発した事で
ありまえ。個性の自由は自己活動と云って差支へありません。

価値活動

斯うしてみますと単に自己活動許りではないが、中心がそれを追って居るとは申す迄もありません

教育の変化を表はして居ります。それは、既に此處に申した生活體験思想中に含ませるとせられ

のが大切であります。自己活動の方は體験作用で、その體験の内容は智的、藝術的、宗教的であります。文化であります。文化教育學の教育に於ては文化を考へる傾向になったのであります。作業主義のケルシェンスタイナーも今日では価値

體験は文化の方を強く唱へる様になりました。自己活動の力説を止したといふのであります。文化教育學は教

育を説く場合にも特に目的を考へ役立つものでなくてはいけないと申します。ガウディヒは最初は自由

精神作業といいますたが、晩年には、作業學校原理を捕ふに體験の原理を以てすべきと言つて居りま

す。體験の形式のみではなく内容に文化の各方面を考へたのであります。女子教育で有名なガウディヒ

シューレに行くと文化科と名付けては居りませんが、文化科的取扱いをやつて居ります。合科的に扱ふ
特設の教科であります。特設文化科をつく文化内容を徹底させるのが原理ですが、国民文化の上から外護が市民文化から郷土からしてよろしい、国民或は郷土人にとっては具体主観になることは自己活動にありましょうが文化を伝えうる事にじて文化価値を考へるようないたのも示します。これは自己活動の形式以上の方であるかに思い到ったのです。

その意味においては手技は手技といふものでよろしい。外国では幼児でも児童でも同じく手技といふものであります。手続き、自己活動形式で要求された時に価値価値をさせるべきと仮ののであります。併し、価値から考へて来たものであります。

内容を考へる場合に、価値一方になって片方があるとは思ふのであります。併し、内容と力説することによって自己活動を忘れては飛んだ事であります。今、いわゆる幼稚園に於いて、内容と力説することによって自己活動を忘れては飛んだ事であります。
教えることは示して居ます。ところがこに注意すべきはドイツ、アメリカの幼稚園ではこれは少ないのです。大学では、新教育は研究されなくても居りますが、幼稚園教育では工夫を加へたものでなければやられません。子供と共に遊ぶだけならば工夫も要らぬが子供がを習いたがつったり数を数えてたりする相談相手になるには、何の程度にするか、子供の力といふものの研究も要ることになります。フランスの如くイデ教育がやるにかいといいです。日本では訓一教育で文字を数へておいてはならぬ。幼稚園で教へておけば小学校で遊んで居てもよいのですから。家庭が教育は居るか、幼稚園で居るかは何をしないものですが、因る箇は何をすれば居ります。幼稚園で一人で居らぬ、幼稚園で教へておけば子供が注意しなかしかいと思いますが、仮名くらのならば覚えます。小学校になって急に教へ始めると小学校で居らぬ、日本語が居るか居らん、居らぬのはよいのです。
海外と申しましては英仏の行き方と、独占のさくねて居りますが、価値活動方面に限って然るべし、永久と云う文字を覚えさせるというふのではなく、子供の方から求めるべきである、というふのには、「子供に対して、むつかしい之等の子供の家では教へて居ります。或る教育では小学校でも教へと申すなば、国家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。ドイツ、アメリカ、フランスにしも、若しくは新教育の主調を考へるのは主で幼稚園の感想を申述べる考へて居るならば、国家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。ドイツ、アメリカ、フランスにしも、若しくは新教育の主調を考へるのは主で幼稚園の感想を申述べる考へて居るならば、国家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。ドイツ、アメリカ、フランスにしも、若しくは新教育の主調を考へるのは主で幼稚園の感想を申述べる考へて居るならば、国家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。
幼稚園の設備

附属小学校主事
堀

元来幼稚園は幼稚があり、之を保育する保婦があれば成立するものである。幼稚園内に於ても保育が出来るのは保婦に於いても保育が出来るものである。幼女の集合しておる公園に於ても保育が出来るのは幼女の三人集って遊んでいる街路でも保育が出来るものである。また一定の園舎が幼児を保育した所は森の中であって一定の建物もなくして保育を始めた位である。敷地内に保育が出来ない説でもない。現に家また幼稚園を経営して十分保育の目的を達してゐる事実が多い。園舎がなくば保育が出来ないという幼稚園もあらう。
しかし雨天のときには建物がなくては保育に支障を生ずるし風が強いときにも困れば炎天の下では保育出来ないのである。森の中に於ける保育も結構あるが毎日家は窓の中では保育上急激の支障を来すことはいはずとも知れ切ったことである。それで幼稚園としては必須条件は保母あらゆる面で関係のないでない所以で

いう。たとえそれが固定した場所でなくともまた一定の建物がないとも必ず保育すべき場所がなくて

ならばね。而して保育すべき場所は常に移動性を以てゐるよりも一定してゐて常に応じて移動する方が便宜であ

る。また屋外保育は至極大切であり結構であるがまだ屋内にて保育を行うのが ...

二

幼稚園設備

一、敷地の条件及び衛生上害ナキ所タルコト。

二、建物ハナルベク平家造トシ組数ニ應スル保育室遊戯室其ノ他必要ナル諸室ヲ備フルコト

二-11
三、保育ノ大サハ幼児五人ニ付タルベク十坪以上ノ割合ヲ以テ設備ヲナシルコト

四、遊園ヲ幼児一人ニ付ナルベクテハ坪以上ノ割合ヲ以テ設備ヲナシルコト

五、保育用具、玩具、絵画、楽器、黒板、机、腰掛、砂場等ヲ備へ其ノ他衛生上ノ設備ヲナシルコト

三歳未満ノ幼児ヲ入園セシムルモノニ在リテハ前項ノ外ノ要スル相當ノ設備ヲ為スベシ。是等ノ設備ハ幼稚園ヲ設立する場合ノ設備ヲ規定するものぞ之ヲ該当しないときハ地方長官がその設立ヲ認可しないかも知れないのである。それで第十七条ニ於テ幼稚園ヲ設置セリタルモノハ公立幼稚園ニ在リテハ管理者ニ於テ、私立幼稚園ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ地方長官ニ申請スペシ。
前項第一号及び第二号ノ変更ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三号及び第六号ノ変更ハ地方長官ヲ開申スベニ位

とある。是等幼稚園設備ノ際、それに認可ヲ受ケべき事

勿論勝手に幼稚園ヲ設置出来ナイ。

幼稚園令によるとノ名稱がある園則があって保のと幼ノあつても幼稚園ノ位置が不定では認可を受け

成為する出来ナイ。即ち一定位置があつて敷地がなければ幼稚園令に於て認定する幼稚園では

である。敷地ノ害についても比較的のことである。

導上害さき所たるべきことは勿論である、幼ノ保育してその心身を全然潅養させるに道徳上

の幼ノ心身の発達は幼稚であるから他の教育機関よりも一層道徳的に無害なることを肝要

なりとする。しかし幼ノ心身の発達は幼稚であるから年齢の生徒に道徳上有害なる場合でも幼稚園
また幼稚園の敷地が衛生上害なきことは至極肝要である。軟弱なる身体を有する幼児を多数収容して保育するのであるから、衛生上害なき所をたるべきものである。大人には左程問題とならない所でな
くとも交通の危険なる場所も幼稚園の敷地としては余程考へねばならぬ。また衛生上左程害なき所でな
る程よい位置であり、交通上の危険なは左程重視するに及ばないけれども、幼稚園では入口の便利な
る注意を払はずれなかった。殊に幼稚園の敷地は衛生上害なき所である。程よい位置をとるべく通園出来
園することができ成長べく徒歩で通園出来る方がよい。また附添なくとも通園出来るならば理想である。短距離で通
園することができは、幼稚園の敷地は衛生上害なき所である。

幼稚園と幼児の位置は非常に重大な問題であり敷地には細密な考慮をなすことが肝要である。

両に角幼稚園の敷地は衛生上害なき所である。程よい位置をとるべく通園出来るのは理想的である。短距離で通
園することができは、幼稚園の敷地は衛生上害なき所である。
子どもは学校に通うの便利であり、学校低学年に通うの便益もある。小学校と幼稚園の役割は、子どもが独立するのではなく、小学校と幼児園を併用させるためには是非も小学校を設立する必要がある。幼稚園が学校と重複するのではなく、小学校を設立することである。幼稚園が学校と重複するのではなく、小学校を設立することである。幼稚園の位置は、学校と重複するのではなく、小学校を設立することである。幼稚園の位置は、学校と重複するのではなく、小学校を設立することである。
コロンビヤ、タイーチャースカレッヂ

附属幼稚園

在ニューヨーク

字佐美ケイ

同幼稚園に就てすでに多くの方から屢々紹介
されて居りますが私のも一日の保育の実際を此
處に記述する事にいたしました。

幼稚園としては広い一室と他に小さな部屋が一
つ続いて居り、別にコート掛、手洗ひのついてる
所謂クラブ部屋について居ります。カレッヂの建物の一
部で廊下は幼稚園の専有になっています。重

庭に面し、左右両側にはその一部屋に同様の窓があ
いております。其の窓下に或は壁に添って砂箱、戸棚、

他、金魚、植木鉢の台が置かれ、広い部屋に何
のしつらえもなく極めて広々とした感じがいたしま

し。
押し車をこしらせめておきます。よく大きいもので子供の身体にふさはしい大きさではありません。この車の製作は一週間前から始まっておるといふ事でありません。よい車輪がある方が幸せにＯ様の木工は既製の車輪をとる事は非常に子供の仕事を活かすことが多いといふ事を所々で此作業を見る度に感じた事であります。此枚にも大小種々の車が用意されてありましたが、此様の果物、野菜が出来ます。これ等の幼児は此遊びに直接接はり、計画的の作業を或人は可なり長き間続けて来たのでありま
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい

数人の女兒は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生と一緒に販品の製作にい
すが、年少の或子供たちは砂箱で自由に遊び、或る為は二人の先生一緒に遊ぶのない所でありますか、否小児が出来ないのでは

ぬかしいのであると感じた事であります。此枚にも

年長者自身もこの環境の一つがあらねばなりません。此点に於て我々年長者は反省しなければなら

ぬ点が多々あると思います。遊び友達の要求が自

然に起るまで一人遊びの出来ない、単に自分で遊

びを見出し難しい子供があるとすればそれは子供

のせいではないし大人が子供をそこねたものと

考えねばならぬと思います。さて此等、店頭き

店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭き、店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭

頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭き，店頭
牛乳とナプキンが置かれます。お給仕の終わったと
牛乳とナプキンが置かれます。お給仕の終わったと

次と買いにまわります。バナナ、一本買った子供が
次と買いにまわります。バナナ、一本買った子供が

すぐ高クでむしろかけますと専人はすぐそれを見
すぐ高クでむしろかけますと専人はすぐそれを見

とがめて先生に訴えました。先生は静かに、これ
とがめて先生に訴えました。先生は静かに、これ

はお友達が折角骨折って美しくこしらえたもの故
はお友達が折角骨折って美しくこしらえたもの故

こなすることはよくないということだといふような
こなすることはよくないということだといふような

牛乳とオレンジの汁とは小児の體質によってわけ
牛乳とオレンジの汁とは小児の體質によってわけ

と牛乳とオレンジの汁と二種のカップを一つは
と牛乳とオレンジの汁と二種のカップを一つは

二つ宛運びます、約五勧位の牛乳とやめてつれ
二つ宛運びます、約五勧位の牛乳とやめてつれ

な手洗にゆきます。先きの組は、テーブルの仕度
な手洗にゆきます。先きの組は、テーブルの仕度

にかう、二人の男児が先きに女中のおいていつ
にかう、二人の男児が先きに女中のおいていつ

た牛乳とオレンジ汁の各のカップには、麦程が一本づ
た牛乳とオレンジ汁の各のカップには、麦程が一本づ

入れてあります、他に各自に紙のナプキンを一枚
入れてあります、他に各自に紙のナプキンを一枚

枚づけ渡します、勿論先生方の前にも、一枚の
枚づけ渡します、勿論先生方の前にも、一枚の

お八つがすみますと、めいく自分のカップを
お八つがすみますと、めいく自分のカップを

部屋の隅の壷の上に片づけ、女中がそれを下げま
部屋の隅の壷の上に片づけ、女中がそれを下げま

す、丁度その時刻は十時半でした。これから休息
す、丁度その時刻は十時半でした。これから休息

時間にはいるのですであります、先生は部屋の可な
時間にはいるのですであります、先生は部屋の可な

厚い窓戸をつかり下ろされます、その間に小児
厚い窓戸をつかり下ろされます、その間に小児

は戸棚からめいかうのラッパを持ち出し、自分の
は戸棚からめいかうのラッパを持ち出し、自分の

ブラインドのすかすか下ろした部屋は可なり暗
ブラインドのすかすか下ろした部屋は可なり暗

くなります。勿論小児も先生も無言であります、
くなります。勿論小児も先生も無言であります、

先生は三人とも適當な位置に椅子を持って行かれ
先生は三人とも適當な位置に椅子を持って行かれ

て小児を見守って居られ、強い眼を閉ざさ
て小児を見守って居られ、強い眼を閉ざさ

せようとはさせませんが自然皆心地よげに眼をつ
せようとはさせませんが自然皆心地よげに眼をつ

ぶってれ居りますが、中にはばちく、眼を閉
いてられるもの、または自分作した玩具の船を持って
枕許に置いて見たり。手にとったりしてる子供
も居ました。正味十五分間で先生は窓をすす
かれあげます。其時音楽がかけられましたが
如何にも静かな曲で、休息からの活動に入る適
当な移行である事を思いました。其間に小児は自
分の敷物を元の位置にあらされました。

そのあとに唱歌、遊戯がありまます。ピアノの周
囲に聞く坐して（あちらの小児はよく床の上にあ
ぐらをかきます）、スキップしたり、律動遊戯をした
りいたします。其群から自由にぬけて例の顚架に
向って息をかいてある小児もありました。また数人
は絵本に見入ってあるといった形です。十一時半頃
から零々と迎へが来ます。五人のみ母様らし
早い方々はそのまえ例の低い戸棚に腰かけて小児の
遊戯を見れて居られるのもあり、或はあつさと自分

の小児をつれ出し、クロックルームで外出の仕度
をさせたまます。勿論小児は一人々の先生に、
さようならの挨拶をして部屋を出ます。十二時に

休息時間に就ては、今日、幼稚園及び小学校の初
年級に於て、神経系の癒養の上に、筋肉病巣の
回復に、極めて効果の大なるものをとされて居ら

そして、全アメリアを通じて均しく实行してあると
いう事でありました。

此幼稚園がミスヒルの指導の許に常に研究の中
心になって居るます事はどんなも御存知の事であ
りますが今其保育の実際を比較的詳しく記載いた
しまして御参考に供した次第であります。
新設幼稚園の経験について（承前）

市街の建設と遊び

二の組の幼児三十数名と先生二人街の散歩に出かける。先生今日花電車が通りますよ、急いで松坂屋前の前まで行く。丁度上野の方から、花電車が五番来ると皆大喜びで観る。

幼稚園へ帰って来て、僕先生花電車描く、一生懸命に電車を描いて居る。砂型が入って居る空箱をつけて電車を作り出す。窓を切り、車をつけてボリはひとど造る。色紙やクレヨンで花電車にする。三角、四角、五角と段々出来た。ハトロ紙に墨で線を描き、一生懸命に走らせて遊ぶ。

翌日いろくの空箱やボール紙、キビガラ、手でやれば箱を重ねて高い感じを現し多数の窓に、カーテンをしながら、屋上庭園には草花を植えた。果物や、時計や、せたものもや、薬や、魚や、八百やたんすや、玩具や、呉服や、等が出来、道路樹は自然の木及び葉、キビガラ、色紙等を使用した。材料は成熟の木及び葉、キビガラ、色紙等を用いた。材料は成熟にしてもいろく使用した。空箱に毛糸、手でテープ、粘土、絵具、種子（水瓜、柿、南瓜）
動物園製作とその遊び

園内から徒歩三十分で動物園に赴く事が出来ると見るのは、動物園のようだ。先生

動物園作らない！「作りたいなあ」

幼児の要求から始めた動物園の製作は毎日粘土、ポール紙、木片、キビガや等の材料によって製作がつづく。動物が出ると思う隠れが出来るとすれば、キビガや等の製作には充分な粘土を必要とする。先生

或る日宿拝する早々先生に粘土をするよう望む速粘土の用意をする。五人集って象、亀、

山羊、サザエ等々面白げに作り初めた。
冬は雨や風、雪等の為、屋外遊びの機会が少なく、幼児は完成の喜びに満ち、本堂の動物園を見ると気が立つ。八条町の動物園へ行った切符売り場、小豆子さん、切符と出来上がり、その製作に興味を持ち、切符売り場、小豆子さん、切符と出来上がり、その後幼児は見物人とになって、切符を買って受付へ渡し、動物園の中に入ると動物園遊びが初め、大きな動く電車で電車遊びが初め、顔のない間、やや電車遊びと連絡をとれ、幼児は竹鉄から松坂や前まで電車に乗り松坂や前から歩いて動物園に行くという様にして毎日遊びで居る。

この遊びは内田保坂、園山もと子氏の計画指導に

呉服や遊び

ヨン、箱、パック、が箱や、箱の模様や箱等のものが現れて来た、これを見出しては大変とその傾向を延長目的のもとに呉服や遊びを初めて見た事にした。毎日朝から次から次と出来て来ました。中にはお母さんが

の着物の柄や帯、半襟等の柄を見て来て描く幼児

約をやると次々と製作が考えられ見物人も、

幼児は完成の喜びに満ち、本堂の動物園を飯

父ちやんと動物園へ行った切符売り場、小豆子さん、切符と出来上がり、その後幼児は見物人になって、切符を買って受付へ渡し、動物園の中に入ると動物園遊びが初め、大きな動く電車で電車遊びが初め、顔のない間、やや電車遊びと連絡をとれ、幼児は竹鉄から松坂や前まで電車に乗り松坂や前から歩いて動物園に行くという様にして毎日遊びで居る。

この遊びは内田保坂、園山もと子氏の計画指導に

呉服や遊び

ヨン、箱、パック、が箱や、箱の模様や箱等のものが現れて来た、これを見出しては大変とその傾向を延長目的のもとに呉服や遊びを初めて見た事にした。毎日朝から次から次と出来て来ました。中にはお母さんが

の着物の柄や帯、半襟等の柄を見て来て描く幼児
番頭さんを三人づく、一日交代にして定める。後

番頭さんを三人づく、一日交代にして定める。後

番頭さんを三人つづく、一日交代にして定める。後

番頭さんを三人つづく、一日交代にして定める。後
幼児の為に歌を作りて（2）

葛原しげる

大正四年頃、最も盛んになって、幼児の世界にその存在を明らかにし、且つ確かにして、入って来たものに、敬音器があり、活動写真がある。前者は、ラッパのついてあるのが普通であって、私の唯一の小型の古い敬音器は、長女の生まれた時、琴よりも尺八よりももと思えて、レコードをきかす気になれて買ったラッパなしの、その頃最新式のューホンというふのでした。しかし、どこにでも有るのは、ラッパ付でしたから、ラッパの奥から声が出る、箱の中から声が出る、というのでした。これに比して、活動写真は、いかにかの決定に因って、それまでに、筍の通った物語でなく、何か、何處かの国遊会か、街路の四つ角のか光景のあったことを、はっきり思い出し得ました。その中に、子供や犬が居ったか何うかかも知られれば、子供の活動する様も少し怪しきのですが、少くとも、従来得た外国のコドモの為の画には必ず犬を蒐集された外外国のコドモの為の画には必ず犬を蒐集された外外国のコドモの為の画には必ず犬を蒐集された外外国のコドモの為の画には必ず犬を蒐集された。
一、出て来る、出で来る、いろんな人が、
あればあれば、小さな犬まで来るよ
笑って来る人、駄け出す人
子供は足並みそろって来る
あとからも、続いて来るよ
子供は手をあげ
帽子を振る
（大正敬年唱敬第四集）

二、自動車、荷車、馬車、電車、車
子供は手をあげ

第一章の笑って来る人や、第二章の手をあげ

じどう車に、くるま馬車、電車

（三九）
先生が見えた
と反覆して、嬉しさは、十分にあるのです、幼
児ですから、そのま、
うれしや
としました。しかし、今にして尚は、かれひま
すと、何だと、ませた子、おしやまさんを見る心
地がします。少くとも、うれしやの「や」の感
動詞の為にせよか、
くれども、日常の言葉でなく、節をつけて歌ふ
のですから、うれしやを止めると、イ列の頜
で止めるより、うれしやを止めると、イ列の頜
で止めるより、うれしやの大きに明るい頜で止めるべ
きせやか。

一、とりく、とりく、蝶々が舞うて

野遊び

二、とりく、とりく、小鳥が啼けば

野原で遊べば、おしろ楽し

遠くの丘には霞がひけば

山ににも丘にも桜が咲くよ

歌を作るといへば、これは、ほんとに作つた歌
でした。こなあげた歌でした。中学や、女學校で
なく、小學校でも、もはや三四年にせば、
見えばは、レミド、ともなるべき語ですから、之も気に入れ出すると、日本語に聞えさせんから、少しく無理ですや。元気を出して登っても、ひくのですか、かいるのですか、何れが、語法上正しいのですか。

そこで、気入れ出ことに見えず、直ぐ見えても高かったみたいに、遠くがよく見えるが、元気に登って驚いた。
あんなに高い山がある。
（大正幼年唱歌第五集）

よくある例ですが、奈良に遊んで、低さに見
える三箇山に登って、～とく～になるとほりです。
山の誇惑は、こんな所にもあつってニッコリさせら
れます。タゴールは、山は空へ届くとして、
膨らんだといいましたが、見てれば、山は、い
ろくの事を考へさせます。登って見れば更に多
くの事を考へさせます。そして、小さい人間を、
大きな事実を以てどうしつけます。
さて、此の歌は、二節に分けてありますが、も
と一つの驚異です。第二節は、高いから遠くがよ
く見えるのです。そして、第二節の続きです。別
くはないのです。第一節で、低く見ても高かつ
た～と驚いたのですか、更に、遠くが、よく見える
ので、今更に高い事が、よく分って、重ねて驚
るのです。}

いたのです。
かくて、もし、これが幼児の歌でなければ、
あんね、もく、よく見える。

あんなに高い山もある。

としたかったのです。しかしち～もど
の心の餘裕はなく、あくまで、平和本位なのです。
他の何も、頭には、まだ目には入って来ておらない
のです。異一文字なのです。

「遠くが～」高い山が～なのです。強いのです。

よそら、お年になりました

楽しいく、おぺんたう

楽田貞氏作曲
手を洗って、行儀よく

よそら、お年になりました

楽田貞氏作曲
みななで
あ食事いたしましょう
（大正御年嚥歌五集）

由来、食物や飲物の話や歌は、やや品下ると考へられております。金銭の事も口にするのも嫌なるの故に、日本人の潔癖で、愉快でもありませんが、幼児に特権だけはあります。況し、小学校も同じです。幼稚園の飯当は、楽しく、待遠しいもののに相違ありませぬ。そこで、大膽にも此の様な新作を試みたのでした。それゆえ、思いきって、三行目をあなたご、』

とまえました。そこで、後になってしまって、最後の人にしました。さて、後になってしまって、最後の

なしいくべんたう

あるいはべんたう
慣にしたいと思ってです。これは、少し薬が利きつて、意外な失敗をする事がありますが。

文書上の修飾でなく、そうすると文字でなく、言葉による表現上にも、最も善いのは最も正しい事である。最善の表現は最も正しい手法による表現に他ならない。その最も正しい手法による表現は、即ち、最も自然的な表現である。そして、その最も自然的な表現をすることは驚くべきであり、大人は三省しないではならない点である。

一語説は、幼児の表現には、少し珍しくない。知恵が有り過ぎ、言葉言葉が多く知っている為に過ぎる大人にとってのみ、一語説は役立つと考えられます。

事実を直感したり、何かを体験したのでなく、事実を直観したり、何かを体験したのでなく、

の中にも、不自然がある事に自らも心付かず

作曲者も心づかわれず公表後数年を経過してしまったが、まだ平気で支えきったと。

水の中から飛び出して

（大正幼年唱歌第五集）

三五
幼稚園の昔と今

1. 昔は幼稚園の数が少なかったが、今は一千五百以上となる。
2. 昔は托児所はなかったが、今は托児所及び農業托児所がある。
3. 昔はフレーベル氏主義のみで保育したが、今はフレーベル氏主義とモンテッソーリ氏主義を併用する（国によってはモンテッソーリ氏主義は用いないが）。
4. 昔は保育室でお釣り板の排置は小学校の如く塗板に面してならべられたも、今は大机の周囲に円形に排べたままで幼児を着席させる（多数の幼児を一室に收容する場合は向う小板に用いられ、多目的）。
5. 昔は保育の材料にフ氏想定の玩具のみを使用したが、今はフ氏想定の外にモンテッソーリ氏想定の教具（此教具は一般に多く用いる處少しだ）
6. 昔は大形積木で、今は各種の大形積木を玩用する。
7. 昔は銅刀とヒロ（竹の細く削ったもの）を以て鉤も小刀も用ひず、最幼児にても容易に作る事が出来た。
出来た様になった。此発明者は五十餘年間東京
女高師附属幼稚園保母近藤渓先生なり。
昔は第一恩物針絵（洋紙に柄附針で刺
して種々の形を表はすもの）を使用したが。
今は視力により良いと試験に於て使用したが
あったが、今日は角鼻を使用する様になった。

10昔は色紙が七次祭りに用る半紙の色のよく
ない物ばかりで有ったので洋紙美濃紙西の内等に
染めさせるに色よく染まり重ね度々染め直さ
たものなりし（當時染料の新しい物発明なく
又染方の未熟による）今は染料も新らしいもの
出来立派に色紙が出来られる様になった。これ染術
進みたるによるなり。

11昔は遊び場に砂場や「プランコ」がなかったが
今は何処の幼稚園でも此設備のない事はない。

12昔は唱経を自ら作られるならば時代で今日の様
に得られず、仕方なく茶の水幼稚園の保母豊
田英雄、近藤渓の両先生が作経されて夫々と官
内省式部寮の伶人先生に作経を承願して使用し
ました。斯くして明治十一年頃東京音楽学校が
出来此處から小學唱経集初編二編三編及び幼稚
園唱経集の出版ある迄凡七八年間東京女高師の幼
稚園本校小学校に使はれたが、音楽学校よりの
唱経が出来てから此唱経は用ひる様になりまして
たが、安に不自由で唱経には苦心の時代であっ
た。今は官立音楽校を初めとして私立音楽学校
の立派なものが出る立派な卒業生が続々世に出
て此人等から良き唱経が出される故に仕合せ多く
この時代となりました。

13昔の唱経の誠表は今日のものとは異なり、左
に其誠表の一部分を「てふてふ」の歌で示せ
ば。
昔は遊戯の手振りは極度に多く外国の保育用

は何を演じて作られて

今は手振りの粗雑なものを用ひられたを

見る（簡単なる遊戯を用ひられるもの）有るも

雑のものを用ひるとすなる傾向あるのは注意を要す

べき事と考え

昔は幼児教育上に資する研究会合なる保育会が

18 なかたが

今は各市町村の幼稚園所在地には保育会あり其

上に各保育会を聴合する保育大会あり其時於

国保育大會の開催せるる有りて斯道の為め結

構の事で有る

19 昔は保育上の知識を向上発達の為にする保育講

習会がなかったが

設の講習が聞かれ他国常有各地に於て小講習会

の開設あるは斯道の為め結構の事で有る

20 昔は幼児の服飾は和服で中に着か二人の洋服の

男児あり。茶水の水の冊で明治十一年頃、一人

は西郷侯爵の息一人は黒川大將の息で有る。和

服の児の袖は綿袖でなく長かった。腰には御守

入りの帯を提げ又「ブロン」をかける児はな

かった。今は男女共に洋服で活発に運動が有る

21 昔は靴をはる児はなく幼稚園の往復には下駄又は

草履をはる園内では上草履をはる歩行に迅速を

缺いたが今は皆靴をはく

22 昔は幼児の頭にかけし、かつ、ちりけ、等の

髪を結び又髪まに結ぶ者も有った

今は男女共に頭髪ありて髪は短く刈り

23 昔は保育者の多くは年長者て有ったが

三丸
この若き保育者の多くなりし
今は保育者の役に立つ
ことには差し支えない
今は保育者の役
めがえは島田麦に結び
昔は保育者の役
トイレで洗い足
水の角から洗う
水の中から
虫が出て来る
これは、何をしたか
このゴミを
かすう
それらを
かすう

女学校の在学中に於て体操科で鍛錬される
女学校の在学中に於て体操科で鍛錬され

今は保育者の役
めがえは島田麦に結び
昔は保育者の役

今は保育者の役
めがえは島田麦に結び
昔は保育者の役

今は保育者の役
めがえは島田麦に結び
昔は保育者の役

以上昔時の古き記憶をたどる
昭和六年初夏
銀女

（三五頁よりつづく）
母を目標として

幼児の絵について

幼児は、その成長発達のために、常に心身を動かし、之と共に活動の資料を要求する。さうして幼児の周囲には、種々無数の事物があり、常に幼児を刺戟してある。併してこの事物中には、幼児にとって利あるもの、害あるものの混在し、幼児は自らの欲を模倣取捨する能力不十分なる故に、このに教は其の指導の任に當らねばならぬ事となる。さ故の材料は何を標準として、選択すべきか

と言うに、方にはそれ故幼児の心身の発達程度に相応する事が必要であり、他方には、幼児の現在及将来の生活に価値あるものである事が必要である。此の教授は其の幼稚園教育要中項目に述べられてあります。そこで幼児の図画、描かし方遊び方なるものは、果して上述の條件即ち幼児の心身の発達程度に相応するものなりや否や、また現在及将来の生活にとつて価値あるものなりや否や、を完発明する事によって、此の問題は解決し得る事と考えられるます。さて同要目第二項に於て、幼児の美的感情は極めて

中村 楠雄
に即した教育を仕様、合自然的な教育をして行か
うとするのに、他ならないのかと思います。

ひるがへってこれの幼稚園の教育に就て眺め
見ますのに、今更事新らしく論ずるまででもあり
ませんので、今までとても従来の学校校などと
は、殆どその立場を異にし、幼稚園の教育とは、
全く遊びの指導である、幼児の生活の充実である
と心得て一路進進して参ったのであります。又な
観念の詰込などは、邪道の結として排斥したので
あります。其の餘りは文字だけ、暇だとかは、
幼稚園を口にするに大罪を犯すものと、様に考へ
られて場合もあったかの様であります。これは幼
児教育の異精神の理解に十分でなかった一部の人
々の、道に忠実すぎた餘弊ではありませんが、
これによっても従来幼稚園の教育は今も
やはり注入的、観念的な方法を避ける事に変りな
く、専ら幼児生活の充実進展につとめるとの如
であります。

そこで幼稚園で絵を描かせる精神について、考
へて見ましても、幼稚園では、将軍、絵がきつ
て見ましても、幼児絵巻や、脳、絵表、詳細に考
る為めの準備として描けるとか等、考えべきで
なく、全く幼児自身の生活に愉快に感じ、満
足を興へ、以て其の生活を充実進展せめ様とす
るに他ならぬのであります。

（二）

朝外出して、包を机の上に置くなり、庭の
方へ飛び出して行きました。まだ八時になら
いのにもう庭の方から、嬉々として元気な
子供達の声が聞えるのです。自分の口から言ふの
は変にはいかる様ですが、本営に子供好きな私
は変にはいかる様ですが、本営に子供好きな私
なんですか。その私にあいした可愛々三十人の
幼児が興へられる事になった今の境遇なんて
軽く目覚めると、もう可愛らしい笑顔が
散らつきます。元気でつぶつぶ、角々が耳へ
いって来る様です。いいえ、本当に思ってますと、
寝ても覚めても私の頭の中は子供の事で、いっ
もいっぱいのです。
そんな元気な声を聞いては、全く固めそして居
られませんでした。
皆さんが私を見つけるなり
「咲か！元気ね、何をそんなに笑ってたの！」「あおね先生！正彦さんね、僕の父さんがこんな
口ひげやしてるって、かたいのよ。」

「そうしたら、先生！一美さんぼうの父さん
のは、こんなに長いって、あれ書いたの」
「いいい、それで笑ってるのだ！でもまあ上
手ね。」
こんな対話をしてゐるうちに段々登場して、
子供の数は増して来てます。そして私達の方へと
集まって来ます。
「先生！僕兵隊さんかけます。」「さあ、子どもに会いたくないってかさがります。
だと申しますと、申し出る子供があります。」
"すもうー、お使いのご見立てて見て頂戴
と申しますと、便り、お返事をして、いそくとかき始めます。
こんな事から、あちこちでも、ここででも、木切
れや棒切れ、さたは飛び、のご石（白い線を
ひくのに用ふる）ポケットから持ち出しなどし
て、地面に絵をぐる事が始まるな。

一人もしくとかけてる子供もあれば、二

人三人何か楽しげに語ってながら書いてるの
もある。

「先生、先生。」

「どうすんだrejected」

「私を呼んで自分の絵を見てといふ子供もある。こうして見て廻るうちに、本当に地面
にかいたのが惜しい、残して置きたいと思ふ様
なもあら。話したら、笑ったり、ほめたり、
はげましたや、知らぬ間に一時間近い時間がた
ってました。

思い返して見ると、なんと楽しい朝の時間で
あったことよ。本當に子供達はよく遊んでくれ
ました。私も全く夢中でありましたが、殊に正彦
さん、一美さん、照代さんなどの絵のうまくな
ったこと！

「私にとつてあの子供らを遊ぶこと、あの子が

今を思いだす」
「皆さん、これまでごきげんよう。」
「どうせ秀夫さんと、汽罐車は代わります。」
「皆さん、お早目に。」
これは、山一様と話すときの挨拶です。

「どこで？」
「ここだ。」
「こんどはどうなづいて見えます。」
「おお！行きましょう。」
「二人がつれて行って、
仲間に入れてあげてね。」
「ここへ入ってあげます。」
「先生！汽罐車になつて頂戴。」
「それなら、いつでも走って居ります。私と彼は
お互いに、友好に走って居ります。私と彼
について、尚も様子を見て居りました。

「あい！先生の汽罐車やあ！」
「先生、汽罐車になつて頂戴。」
「ゆやく早いか、私の後ろに飛びつきます。」
あらい！大きな汽砲車やあ！
その様がして、見る間に大勢の客様が
つながりました。騒ぎますや、先の汽砲車さん
も、いつの間にか客様になって、ちやんと乗
みこんでます。
「あら！騒ぎますや、早う騒ぎますよ。」
と言いますと、「
「さら、さら、さら！」
と、私が促しますと、それでも一寸列を離れ
て手をあげました。そしてまた直ぐに元の場所
に、飛び込みました。今度の汽車がやまを廻は
る頃には、あちから、こっちから、客様があ
加はって、長く、長い、汽車になったのです。それ
で、汽車の道も廻へねばならないのです。やまを廻
って、トンネルぬけて、出橋を渡って、花壇を
「先生、あたしにも！」
「先生！紙へかいて頂戴。」
「クレオ兒で書きたいなあ！」
「突然さあ、言うまでは秀策さんでした。さう言ったのは、道雄さんでした。そして女
生はお立ちけに、 Probe もあたしにも！」
進に入ると、絵を書かせようかね。

先生！紙とクレヨンにしましょう。

あ、嬉しい。

ええ、私は嬉しくて喜んでおります。

手をたたいて喜んでおります。

私が笛を吹きました。私の笛は mycketかったが、皆さんから離れれてまた子供はわつくかなかったが、かわる音色を変えております。そして静かに、また部屋に這入りました。そして直ぐに、笔とクレヨンを配り始めました。子供達は、嬉しさを包み切れぬといふ風に、時々「ふむ」
先生！僕とこの兄さん昨日入営したの。

「まあ！それでそれはああだね。」

僕も送りに行ったの。旗だってね。兵舎へ人が
澤山々行ってたよ。

それはお忍びやかなただせ。稔ちゃんのお
兄ちゃん兵隊三人にいったのね。えらいわね
え！さあ、真の事をかいたら、きっと面白いの
が出来ますよ。今日はプランコ、汽車つって、
それから入管——色々かく事がありますのね、
まだ！他にもありませ。さあ！それでは皆
んなにかいて頂きませんか。

子供達は嬉々としてかき始めました。

ただって、につるして、切りに私を手招き
するのは積ちゃんです。そばへ寄って行くと、
自分のかいた絵を指して、

「先生バスの方が背が高いでさ。」

と尋ねる子があります。それで見に行きませ
と、交叉點での交通整理の様子を見こうとして、

「うまく思うか、ひょうこかくん手をやめて
ってある子供もあります。

先生バスの方が背が高いでさ。」

と尋ねる子があります。それで見に行きませ
と、交叉點での交通整理の様子を見こうとして、

「うまく思うか、ひょうこかくん手をやめて
ってある子供もあります。

先生バスの方が背が高いでさ。」

と尋ねる子があります。それで見に行きませ
と、交叉點での交通整理の様子を見こうとして、
こうして、説明をきいたり、相談に頭をたきり、さては手のつかぬ子とヒントを興へたりし、時間は知らぬ間に、そして楽しいついて行きました。子供にとっては、私にとっては別に何と云えなく、イフヘルマレた時間だったでしょう。

（三）

今日は空には一時の雲もない良い秋日和でした。潮遊びの子供達の顔を見るときの子供、どまる声扣くとして、生々として、喜びに満ちあふれてゐる様に見えました。私の胸にも満ちてゐる様に見えました。私の胸にも満ちてゐる様に見えました。

私は思わず知らず、全く無関心的に、それは丁度小さい時に、突然楽しい事を思い出して、急に友達に誘ひかける様に、往復途中の話や、公園で遊ぶ時に心地ばつとしたおかしいお顔で、如何にも得心がいつたらしく聞いててゐました。

今日公園へ遊びに行きませんか？

と、子供達に話かけてゐました。
それで子供の希望通り、第一に動物園へ行きました。今日は暖かいせいかも、まだ午前だのに相当人も来ています。動物園はやはり気持ちがよいのが、以前に行かなかったのに、こんなに多くの人がいるのです。いい外に出ても기관まpleteに熱心に見て歩きます。何と言っても子供は－番愛著者です。子供達はたまた行かれてもありましょうね。次に孔雀はあまり大きな美事な尾を力いっぱいにひろげて、何ぺんも何ぺんも打ちふるにする。見えないでも、子供達の大きな喜びはして見せておれたのも、子供達の大きな喜びでした。

それから運動場の方へ。花園の方へと歩き廻って見せきって下さいますか？

さあ、どうだね。

あっさりと、気持ちよく承諾してくれました。それで早速先生を子供達に紹介して、今お客様の真中です。子供達はと見ると、如何今も良い子になってね。と言っている、分れを致しました。

見るべき四方に散って行きましました。どうするかと気づかって、しばらく見つと見ておましたか？
隆さん、写生しようとする？

「正ちやんは？」

「ようする！」

「お兄ちやんや、姉ちゃんたち、お話をしてるのも見つからます。」

「どうも兄ちやんや、姉ちゃんたち、よくここから話かけてくれたのでは。中には落ちたゴムを拾ってあげたり、飛びかけた紙を敷いてあげたり、ちょっとした御用をさせて貰ってます。」

「僕、日曜に兄ちやんと写生に行ってきたんだよ。」

「僕らも写生したかいなあ！」

「僕、あちこち写生の話で持ちきりの様子です。まあ幼稚園へ来てから、子供達と私の間で急速今日の公園でのお話を始まりました。その時誰かと今見えて来た写生の話をして、元気に絵を描きに、先生、写生につれて行って！」

「先生、僕もよ。」

「先生、乳ちやん？」

「先ちやん、あたしもよ。」

「先生、乳ちやん。」

「先生、乳ちやん？」

「乳ちやん、どうかな、可愛いか、今私、新しく人達が、どんなにの様子といい、今私、小さい人達が、どんなにの様子といい、今私、小さい人達が、とな。乳ちやん。」
自分より大きな人達の筆生いふものを、あげてあるかと分かります。
えへ、それは私達も筆生に行きませよ。
と申しますと、手をたいて喜びます。
「先生！いつ？」「先生、あんな三本の額掛、などと聞く子供もありません。
ええ、ちやんと用意をしておるのです。
額掛はね、もつと気軽に皆さんが持ちやすいのがあるのです。
それからね、紙をのせる紐のついた、あの大き
な板も、それから額掛も、かしてあげます。
と申しますと、「やあーっ」
と、もうたまらぬといふ風に皆さんが叫び声
をあげます。

「さあ！だから明日も去る元気にいらっしゃい。」
と言つて、手をだいくかと思へば、
「嬉しいなあっ」
「うまい、ザっ」
と、と申しますと、「かがしてね、皆さんも笑はせる子供もおり
子供の希望を、こう明日に結んで、今日を終
る事に致しました。」

子供を門まで送り出し、お部屋に戻って来
ると、さすがに大浪のひいた後の様な静かさを

五三
感じます。しばらくは
「今日は少しお帰りが遅くなっただから、さっそと
お帰りなさい。」
と、お迎えのない子供に注意はしたものか、
家庭では心配をしないだろうか？そんな事は考え
ても、かえによかしい眼と眼で、むすじく語
らせながら、道をいたぐ子供の姿と変わってます
した。

かと思ふと、迎えの人に行きとられて行く子
が、
「先生、きょうね。」
と、言はぬばからに、自分を眺めかけてい
る。目ざしは散らつきます。
今日半日の思いは、それからそれへと走馬灯
の様にくらひげられて行きまいます。さとめに美
はしく、本當に楽しく！

保育室の一隅に座ってゐる自分でした。
さあ！明日の準備をしなくては、急いで食
事をとりましょう。

私もその思いは、それからそれへと走馬燈
の様にくらひげられて行きまいます。さとめに美
はしく、本當に楽しく！
どんぐり。

私が御門の所へ近づくと、子供達はこの有様
で、出庭で遊ぶことさえしていないで、今日の楽
しっかりのために、私をこままで来て待ちかまえて
るのです。

思はず知らずほんら笑ませられた私は、可愛
い人々の挨拶に答えると共に、あつむを一つ
なでてやりました。

先生はどこから行くのですか。

答えます。それで子供の希望通りにきめて
昨日の場所に参りました。そして簡易に危険な
所に行かない様にという意味の注意を二つ三つ
して、

さあ！ここからどこでもかが。

と言って、わかいの模を致しました。

かつスパルタの武士が戦の相をさげた様に、

と、言わば余りに仰山過ぎるが、全く子供よ、散
らしゅ様に、それでも身大に餘るかと思はれる畫
板を引きつけて、思ひ々々場所にわかれて行く
姿は、げに可愛く、勇ましい未来像到の小

戦士達です。

意味が分ってか分らずにか、只昨日見たま
に、眼をほぞめ、鉛筆を突き出して、向ふをた

五五
これらの分も加えて——私の組の展観会をするつもりです。そして他の組の先生やお子さん方、出来るなら私の組の母さん方をお招きして見せたい、包み込まれた風にほほ笑み合って消し、消してはかき、ゴムの粉を払うとばれない。今日の風はくわしく、平戸の戦い正月のけたたましいものであれども、子供等の得意や思べばこれあります。子供は今時忘れ、子供を忘れ——全く学校の有らん限りの腕をるつてゐるのです。そして天下一の子供にならきつてゐるのです。まること、その姿こそ色々ながら、子供等の喜び、今思つても胸がつどる様です。生活記録的に書いて見たものですか、こうした例をあげますなら、ただ、澤山書かねばならぬと。

以上私は一人の保姆になつたつもりで、其の生活を記錄して見ても見ても、一出来事であると申したいのでありませぬが、実際的な表はそして、右の如くでなければ、今日の此の絵は皆んな部屋には出して——
七月の手技材料

日比幼稚園
和
田
賓

梅雨も晴れて、愈々本格の夏となりました。此の暑さに何としても、水いたずらが一番です。鹽に水沢んで庭に持ちだし、色々と実験させるといよい遊びになります。

コップの水。コップに水を入れ。書折紙を適宜の大きに切って、之を蓋にしてコップを倒さにし、て見る。水は完全に、こばれない。此実験は子供にも楽と云うますから、人々に行らせて見ると面白。次に

ミルク。ミルクの明き鍋をよく掃除して尤も初めにミルクを出すときに鍋の一方の左右に小さく見て居る中に、水が鍋に張る。と止む。そこで鍋を引き出して拇指で一つの穴を塞いなから、一方の穴を塞いなから、空気が小さい泡となって継続的に来る。暫

穴を開け（錐で一辺一分位の穴）。片方の穴から、水を入れて。拇指一つの加減で水の出を自由に加減す。誠に面白い遊びです。
ゴムまわりの水ピストル
ゴム球の空気の抜けた
のを利用して細筆の軸を二寸位に切って、之をゴ
の何処か穴開けたところか、又はねじと穴
を造って差し込み居周囲を少ししまんで軸に細
か針で縄付けて水のへれが発する。斯くし
て水中に押し込んでから手で握って球の中の空気
を抜くと、水は球のふくらむと空気中に入る。

ゴム輪動力の船
丸木船の底に推進機のプロペラを取り付けゴム輪動力として取付ける。実
では飛行器へ取り付けると同様の仕方にする。そこ
で、プロペラを適宜廻して、ゴムを好い加減に
で、ゴム球を適宜廻して、ゴムを好い加減に
て水に入れて、手を放さずに水に入り、そこで、手を
ねらって、手を放さずに水に入れ、そこで、手を

筏舟の競争
筏舟を造って水にあけさせる。一と
きに大勢では行かれば、一人で二三人で二
かせて、各幼児に、囲むのを持たせて、各々、自分
の舟をあけさせる。早く池の彼岸に達したのが勝
大白く遊びます。筏舟の代わりに板を舟の形に切り
小さい帆を上げたのをみれば、それが出来れば一層、

噴水の実験
バインアップルの明か鍵を利用し
て、底に細ゴム管を通す。具仕方はゴム管の一端
にペンの軸の一寸ばかりに切ったの一を差し込み、之
を其の鍵の底の穴に差す。そして、ゴム管の一
端には、更に細い筆軸の二寸位にしたのを差して
能く見える。何度も々々して見せる。大きい子

下りよれよ

浮沈子の事です。毎子の間筒が
あれば申分ありません。無ければ一箇瓶の明いた
のでも宜しい。先づ水を一杯入れて、浮沈子
を浮かせ、ゴムのシートで口を蓋し、周囲を細
と実験する中に噴水口が水源より低い時にのみ噴
水することがわかる。交々々に持たせば水を
入れて遣る。

虹吹き

霧吹きに水を充たして用意し、子供は
太陽を背にして立つせ、其面前に霧を吹く（少し

高く（スルト）美しい虹が現れます。子供にも

面白うせに、楽々と浮沈子を上げし、浮沈子
が差し出されることが出来ます。浮沈子は色々ある方
下させることができ、半分あれば勿論、浮沈子の力でも、楽々と浮沈子を

中へ入れ残し空気の量を、適當に加減すれば

人形を作つても面白い。又、玉子の一方に小さ
ノ穴を開けて中身を出して、此殻を利用しても面白
い。何にしても浮沈子の重さは、やっと、浮

て居る程度にしないと、子供の手の力で、浮沈子
せることが困難になりますから、此方の加減が厄介ですが、是さへ出てれば、後は何でもありませ
ん。以上の外、サイホン式の「水出し」の色々な質
験のことは前々号に書きましたから、故には略し
ます。時には疊一冊数位の広さの水槽か、小さい
池に、和金（金魚や鉤の形のもの）を数々浮か
て、之を小さい網で、子供にすくはせる。すくつ
って、之は小魚をあげると云へば、子供は夢中
たるものに金魚をあげると云へば、子供は夢中
にすくはすると、暫くは、夢中となって遊びま
す。小さい子供などには、壷の中に土鍋を数枚
して、手で追い廻はさせても宜しいです。尤も、
長い図畫紙に針の間を黒く描いて置いていたのを渡
して、手で追い廻はさせても宜しいです。尤も、
之はあまり永くして居ると土鍋が参りますから、
好い加減の所で止めさせないと、残酷な遊びにな
ります。水いたづらは此位にして置いていて、何か製

懐中時計
図畫紙へ図形を画いて渡し、之を適
宜指導して時計の時刻表に作り上げる。次に、細
長い図畫紙に針の間を黒く描いて置いていたのを渡
して、手で追い廻はさせても宜しいです。尤も、
之はあまり永くして居ると土鍋が参りますから、

日和傘
図畫紙の中央に頭四寸位の圈を描いて
入れて、之を傘にする積りでも何でも書かす。出来

中央の處に穴を開けてやつて、之にマッチの一
本
海軍大将の帽子、新聞紙で大きな三角形の袋を作ります。子供の頭に充分、かぶれる様に、そして之を三枚重ねて、ふちのところへ糊付して三枚を一つにしてかぶれる様にする。次にそのふちのとこへ、巾一寸位の色紙を貼る。組織を二三枚並べて貼っても宜しい。次いで三角の山に沿って飾り毛の代わりに紙を細くしたものを貼る。葉子の中に貼って居る。彼の細い紙を丹念に貼り付けるのが好いと思ひます。次に、両側には打ち抜きの貼紙材料を花の類が適當、子供の自由に貼らす。之で出来上りです。子供は悦んで彼を遊むものです。

勲章
金鶴勲章を輪廓とって渡し手本に依つて塗らせて、次に切り抜かせ、安全ピンで胸に付けて居る。同じ様に他の勲章をも二三枚造へ之を胸に掛けます。多くする程、悦ぶ。

かんかん帽
麦藁帽のことですね。先づ、三つのかんかん帽を適当にかさせて切り抜き置き、子供に何の部分を適當にかして切り抜き置き、子供には水屋遊び。

水屋遊び
水に水を盛った絵や、皿にアロソリムを盛った絵や、コップにサイダーを盛った絵、子供たちがこれに衣から水を拾って遊む。子供を水屋の様に着せ、水を拾って遊む。子供には水を拾って遊む。子供は悦んで遊む。

郵便局遊び
郵便局を前に、お客さんと遊べばよろしい。出来上つて郵便局を歩く形で遊べば、水屋遊びの様に指導して遊べる。勿論、郵便局を遊べばよろしい。子供は悦んで遊む。
七月の園芸
岩
金

鶴沼しはいいながらも晴れては虫退
治、掃木、植替え、除草など前月半ばからこの旬ま
ではなかなか多忙である遊びがその梅雨も晴れ
ますれば後はすっかり夏の気分になってしまいま
す。

先づ観賞の方面から申しますれば朝に開く朝顔
やステージ、ラテナ、ダーリヤ、綾こい茂の
下の山百合、谷間の姫百合、車百合など見るから
に気高く感じられるものやさしく愛らしいもの、
又早咲のささやうなども皆本月が見頃であります。
収穫後、今宵新囲四節伸びた側芽は未だ位つなく
て摘心し花壇や鉢作りなどにさしてはおまかり
丈をのばさないで株をはらせた方が支柱の心配が
なくてよいと思います。

春咲の球根類伝て掘りあげてないもののは掘りあげ
なければなりません。又外にありました雪割草や福寿草は今月から十
月始め頃ではあまり日光が強くない半日陰の所
にさしてやります。

その他は灌水に念入りないうち、朝顔や菊には
わけて暑い中にも一週二回位は施肥をしてほ
しいものです。まだく畑には色々してほしい仕
事がありますが暑さの折からあまるよく申さ
ない事に致しませう。

収穫

暑い中でも收穫と申せば楽しみがそこて参り
ます。わけても赤々と房をなし水気たっぷりのト
マット想像しては夕方もまたれないで先づこの暑
時にならしました。草花類にありましたは色々の種子をとらなければ
その外ふるな、ふだんさら、ピーチなども收穫
居りますからここの省略しまして只適期を失しな
い事に御注意申しておきます。

木の種子としてえにしれの實が黒くならしつ
た、是は草花類の如く播種して翌年すぐには開花
する迄にはやささからが早いか三年目立になり
ますと程大きくなり花も着くようになりま
す。自分で楽しむから育てた木物の次第に大きくな
りますのは草花の培養より以上に楽しみな所があ
ります。
没有生成的文本
一、開設学校ニ於テ定員外ノ講習員ヲ受講ヲ許可シ若ハ其ノ選定員中ヲリ其ノ一部ヲ削除シタルトキハ開設学校ヲヨリ其ノ旨地方長官ニ通知ス
定員外講習員ヲ許可ヲ受ケタルモノヲ削除シベリ其ノ他ノ者ヲ削除ノ通知ヲナキ限りヲ受講ヲ許可シ得ルモノト心得ペシ
一、講習修了者ニハ其ノ出席日数ヲ等ヲ査察シ修了
証毎ヲ授與ス
一、講習ニ要スルヲ実験ヲ表現ス
印刷費ニ其ノ他雑費ハ常該科目ニ講習員ニ負担トス
七月ニ十二日ニ之ノ日報ヲ抜粋
一、期 日 昭和六年七月ニ十六日ニ二十七
一、場

一、出席者資格
本協會提出議題外ニ一般ノ協議題研究題談話題等ノ提出ハ六月未日ヲ限リ但ヲ説明ヲ要ス

五、議題
四、講演
三、功績者表彰（滿二十年以上）
二、研究発表
一、行事

一、全国佛教保育大會
佛教保育協會ノ主催テテ講習ノ通ヲ開催スル

一、一 Heb
告

東京女子高等師範学校附属幼稚園

日本幼稚園協会

定規文注

告

日本幼稚園協会

東京女子高等師範学校附属幼稚園

昭和六年七月一日印刷納本
昭和六年七月十五日発行

幼兒の教育

東京女子高等師範学校附属幼稚園

発行所

東京女子高等師範学校附属幼稚園

日本幼稚園協会

価

定

一ヶ月分一冊 金参合五銭

金貯固拾銭 送 料 売銭

（外國行郵票は一部金貯固錢の割にて御郵送下さい。）
## 第二回全国保育夏期大講習会

### 一、期日
昭和六年八月四日より七日迄、四日間
### 二、午前の部
保育師の幼児の心理的新研究
- 森川正雄
- 久保良英
### 三、保育について
- 奈良女師附属幼稚園主任
- 松山芳野里
- 青柳善吾
### 四、幼児の衛生的新研究
- 東京高師附属小学校教授
- 松本美利
- 田中正明
### 五、幼児の新しい保育について
- 京都府常盤幼稚園長
- 佐野见
- 橋川正
### 六、童話の演劇
- 松山芳野里
- 田中正明

### 九、会場と申込
大阪市大手前高等女学校
- 申込は昭和六年七月末日迄に会場をテヘ大阪市西淀川区野
- 里町大日本新遊技研究所に書面に従って送る

### 二、特典
- 例年の通り演奏会・大商店よりの寄贈品
- 六番掛けること

### 九、有価証券発表
- 松本美利
- 田中正明

### 表紙
- 会場・申込
- 大阪市大手前高等女学校
- 申込は昭和六年七月末日迄に会場をテヘ大阪市西淀川区野
- 里町大日本新遊技研究所に書面に従って送る

### 嬰兒の新しい保育について
- 長谷川
- 田中正明

### 嬰兒の新しい保育について
- 松本美利
- 田中正明

### 嬬育
- 松本美利
- 田中正明

### 嬬育
- 松本美利
- 田中正明

### 嬬育
- 松本美利
- 田中正明

### 嬬育
- 松本美利
- 田中正明